

【北海道内の地域の医療機関を支えるための住民団体】

(令和元年10月 北海道医師会調)

No.	市町村名	団体の概要					取組内容		具体的な取組例	
		グループ・団体名	代表等	住所	対象医療機関	設立の時期・経緯	備考 (団体のホームページ等)	団体が行っている取組		その他
1	松前町	松前町病院 「傾聴ボランティア」 「キルトサークル」 「絵手紙教室」		049-1593 松前郡松前町字大磯174-1 松前病院「傾聴ボランティア」 TEL: 0139-42-2515 FAX: 0139-42-2516	松前町立松前病院	松前町立松前病院の「町民に支えられる病院」づくりに賛同して開始。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア		・「看護部との随時連携」ボランティア状況の説明や松前病院の取り組みを取り上げた記事をスライドによりわかりやすく説明し、病院自体に親しみを感じていただけるよう、院長との懇談を交え、ボランティア懇談会を開催。 ・「個別の活動」 (傾)入院患者様への傾聴活動(月3回) (キルト)院内での作品展示(季節、行事毎による展示) (絵手紙)院内での作品展示( )
2	千歳市	スマイルハートリー		〒066-8550 千歳市北光2丁目1番1号 TEL: 0123-24-3000 内線525(午前中)または内線400 市立千歳市民病院地域医療連携課長 重永 E-mail: naoyoshi.shigenaga@city.chitose.hokkaido.jp	市立千歳市民病院	平成14年9月設立。 当院の理念『より質の高い心あたたまる医療の実現』を尊重し訪れる人が安心して病院を利用できるようなボランティア活動を目的とする。	http://chitose-shimin-hospital.jp/info_volunteer.php	・対象医療機関でのボランティア		・病院内の案内 ・書類の代筆 ・車椅子での移動及び受付機操作の補助
3	千歳市	NPO法人ちとせの介護医療連携の会		〒066-0042 千歳市東雲町1丁目11番地 千歳市しあわせサポートセンター内 事務局長 木下 浩志 TEL: 0123-49-3330 FAX: 011-351-5601 E-mail: chitose.renkeicenter@gmail.com	千歳市内 医療機関、介護関係 施設職員などで 構成	2010年4月に市内の医療、介護関係者有志で発足した会。 千歳市内の介護と医療の連携促進、強化のためには、各機関が互いに地域の課題、情報を共有し、千歳市内全体で取り組む必要があるとの考えから活動を開始。	https://chitose-renkei.com/	・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・介護・福祉職の雇用対策「千歳だけの就活」を開催 ・住民への普及啓発 ・講演会(フォーラム)の開催 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催		・市民参加型フォーラム 千歳介護医療連携フォーラム 知って得する!? 医療と介護のなぜ ・市民向け学習会の開催 ・介護・福祉職の雇用対策「千歳だけの就活」を開催 ・サロンプログラムの開催(会員を対象としたスキルアップ、情報提供を目的とした研修会) ・若手従事者を中心としたWakabaの会の活動と運営 ・地域NST活動の推進(医師、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士、看護師によるチーム活動)
4	京極町	ひまわりクリニックサポーターの会	会長: 堅田 光良(かただみつよし)	事務局(連絡先) 〒044-0121 虻田郡京極町字京極316 ひまわりクリニック京極 事務局長 笠井 事務担当 鈴木 TEL: 0136-42-2161 携帯: 090-6445-1228	ひまわりクリニック きょうこく	平成26年4月設立。	定例会(毎月)	・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催	医療機関についての学習活動	・スタッフとの親睦を深めるための交流会。 ・地域医療を守る住民活動に関する集会への参加。 ・定期的にサポーターの会合を開き、医療について話し合う。
5	岩内町	地域医療を考える会	会長: 千葉 正憲	〒045-0022 岩内郡岩内町清住6-25 千葉 正憲 TEL: 0135-62-8478 E-mail: tibamasanori@outlook.jp	岩内協会病院	平成26年6月12日設立。 平成26年1月に救急医療を一時休止したことを受け、町民有志が救急医療体制の充実と地域医療について病院・自治体等と協同して考えていこうと話し合い活動を始めた。		・住民への普及啓発 ・会報の発行	健康まつりの開催	・平成30年 5月16日 H30年度地域医療を考える会総会 ・平成30年10月18日 広報誌「地域医療を考えるNo.13」発行 ・平成30年10月20日 第7回健康まつり 協会病院と地域の交流を図り相互理解を深める。常勤医補充に向けて出来る努力をする。住民の健康保持のための方策を考え実現を図る。
6	赤平市	赤平市社会福祉協議会ボランティアセンター	赤平市ボランティアセンター(赤平市社会福祉協議会) 生活支援コーディネーター・ボランティアコーディネーター: 黒坂 順子	〒079-1142 赤平市東大町3丁目4番地 赤平市ボランティアセンター 黒坂 順子 TEL: 0125-32-5566 FAX: 0125-32-1025 E-mail: akashakyo@akabira-shakyo.hs.plala.or.jp	あかびら市立病院	平成20年に病院ボランティア募集。 平成20年6月に病院側との活動検討委員会開催。 平成20年7月より活動開始。	http://www.akabira-shakyo.hs.plala.or.jp/volunteer-top.html	・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報の発行	食堂運営、医師・職員との意見交換会、病院サービス向上委員会参加	・医師・職員、ボランティア交流会(1/年) ・一般向け情報誌の発行(2/年) ・ボランティア活動 病院案内(月～金 9:30～11:30) かあさん食堂ほらん亭(月～金) 生花ボランティア(2/年) 医師、職員との意見交換会(1/年) 写真部作品展示(4回/年) 病院サービス向上委員会参加(1/月) ほっとHOTコンサート クリスマス時期(1/年)
7	滝川市	滝川市立病院「菜の花応援団」	会長: 樽坂 幸夫	〒073-0022 滝川市大町2-2-34 滝川市立病院 事務課総務係 草野勇太 TEL: 0125-22-4311 FAX: 0125-24-6010 E-mail: kusanagi@med.takikawa.hokkaido.jp	滝川市立病院	平成23年9月2日設立。 全面改築による新病院開院(H23.3)を機に、市内各団体の代表者や個人ら市民有志が集まり結成された。		・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発		・会員の一部は「病院ボランティア」としても活動(来院者への受付サポート、診療科案内、入院患者の話し相手など)。 ・救地内の花プランター設置や花壇の整備 ・病院主催の院内クリスマスコンサートの開催協力(会場設営や入院患者の会場までの移動手伝いなど) ・院内「らんたんまつり」の主催
8	砂川市	砂川市立病院 院内ボランティア		〒073-0164 砂川市西4条北3丁目1-1 地域医療連携 TEL: 0125-54-2131 FAX: 0125-54-0101	砂川市立病院	平成16年1月設立。	http://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/quick/details/post-2.html	・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア		・年間を通じて受付補助や院内案内、図書修繕、がんサロン(月1回)の運営などを実施
9	深川市	ボランティア・わかさ	代表: 久保 照子 副代表: 佐藤 由利子	〒074-0006 深川市6条6-1 深川市立病院 地域連携室 TEL: 0164-22-1101 FAX: 0164-22-5929	深川市立病院	平成18年6月設立。 新病院へ移転後、患者様への案内・説明、介添え等のボランティアを募集し、活動が開始された。	https://www.city.fukagawa.lg.jp/fukabyo/section/i9tmv10000001yar.html#s1	・対象医療機関でのボランティア		・年間を通じて 患者さんの院内案内、再来受付機対応、車いすの介助・整理整頓、図書整理、植木・プランターの世話、リングブル・ペットボトルキャップの収集。 ・4月～5月人形展示 ・11月～クリスマスツリー展示、手作りプレゼントを作成し、患者さんへ配付。 ・2月～お雛様展示
10	沼田町	地域医療コミュニティカフェ「あったまーる」		〒078-2202 雨竜郡沼田町南1条3丁目6-53 沼田町役場保健福祉課 TEL: 0164-35-2120	町立沼田厚生クリニック	平成27年3月から活動。町立沼田厚生クリニックが、地域医療の拠点として住民に利用されることを目的として、町民有志が月1回のコミュニティカフェを運営している。		・医師等との交流 ・ボランティア活動 ・住民への普及啓発 ・講演会の開催		月1回、約10名の有志が、町立沼田厚生クリニックのホールを活用し、医師・理学療法士・薬剤師等による健康教育、健康相談を企画運営。1回あたり約40名が参加し、終了後は医師等と町民が気さくに語り合っている。

No.	市町村名	団体の概要					取組内容			具体的な取組例
		グループ・団体名	代表等	住所	対象医療機関	設立の時期・経緯	備考 (団体のホームページ等)	団体がやっている取組	その他	
11	苫小牧市	苫小牧市立病院ボランティアエールの会		〒053-8567 苫小牧市清水町1丁目5-20 苫小牧市立病院ボランティア担当 桐木・小林	苫小牧市立病院	平成13年1月設立		・対象医療機関でのボランティア		
12	白老町	白老町立病院を守る友の会	会長: 宗像 千恵子 副会長: 重山正吉	〒059-0903 白老郡白老町日の出町3丁目1番1号 白老町立病院 事務長 村上 TEL: 0144-82-2181 FAX: 0144-82-2182 E-mail: msys-161-shigeyama@docomo.ne.jp	白老町立国民健康保険病院	平成25年6月、町から病院廃止が発表され、存続を要望する町民が署名を集め町に提出。その後、取り組みを進展させるため「白老町立病院を守る友の会」を設立。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報の発行 ・講演会(フォーラム)の開催 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催	各種催事(端午の節句、七夕、クリスマス、ひな祭り等)における院内の飾りつけ	・町長との懇談 ・第3回病院改革協議会 ・役員会議 ・通常総会 ・町議会議員との出前トーク ・地区懇談会 ・医療講演会
13	浦河町	浦河赤十字病院を応援する会	会長: 土井忠男	〒057-0024 浦河郡浦河町築地1丁目3番1号 浦河町役場保健福祉課 課長補佐 高田清 TEL: 0146-22-2311 FAX: 0146-22-1240 E-mail: hokenfukushi@town.urakawa.hokkaido.jp	町内のすべての医療機関	浦河赤十字病院で医療活動に携わる全ての人々への感謝の気持ちを共有し、地域医療の充実強化を図るため、日赤の医療活動の現状と将来を応援するため平成30年7月23日設立。これにより、浦河の医療機関を守る会は平成30年4月26日に解散。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・住民への普及啓発 ・会報の発行	日赤の現状を知ってもらうため、住民を対象とした懇談会を実施	
14	士別市	士別市立病院応援隊	幹事長: 佐々木 幸二	〒095-0022 士別市西2条5丁目 士別商工会議所 士別市立病院応援隊事務局 佐々木専務 TEL: 0165-23-2144 FAX: 0165-23-5417 E-mail: shibecci@seagreen.ocn.ne.jp	士別市立病院	平成24年4月1日設立。 地方での医師不足が続き、地域医療に対する不安が拡大する中において、本地域における医療の中核的な役割を担う「士別市立病院」を市民の手で支えていこうという機運が高まり、組織化されたものである。	http://www.shibetsu-hp.jp/hospital/volunteer	・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報の発行 ・講演会の開催	物品、備品等の寄贈(院内インフルエンザ拡散防止対策としてマスク、院内消耗品としてタオル、待合室へテレビ)	・環境整備(花壇・駐車場の整備) ・手話通訳による患者サポート ・手話講習会 ・講演会の開催 ・地域医療を守る住民活動に関するシンポジウムへの参加 ・「市立病院応援隊だより」の発行
15	名寄市	名寄市立総合病院サポートクラブ	代表: 田畑忠行 (01654-3-2368)	〒096-8511 北海道名寄市西7条南8丁目1番地 名寄市立総合病院 TEL: 01654-3-3101 FAX: 01654-2-0567	名寄市立総合病院	平成27年7月21日設立。市民はもとより地域住民の命を守る名寄市立総合病院が未永く存続発展するため、市民有志が病院と共に歩み、支えることを目的に活動を始めた。	http://www.nayoroch.jp/hotnews/detail/0000355.html	・花壇整備、清掃活動 ・コンサートの実施	・入院患者を対象としたロビーコンサート ・定期的な病院周辺の清掃活動	・H30.4.27(金) 総会開催 ・H30.5.19(土) 病院周辺の清掃活動(ゴミ拾い) ・H30.6.27(水) 平成30年度会報第1号発行 ・H30.7.7(土) 中央玄関前に花のプランター設置 ・H30.7.14(土) ロビーコンサート開催(サウンドラボスカイ様) ・H30.7.27(金) 絵本寄贈(約30冊) ・H30.12.7(金) クリスマスロビーコンサート開催(名寄白樺合唱団様)
16	名寄市	名寄市風連国民健康保険診療所サポートクラブ	代表: 川原 彰 事務局長: 伊東 光義	事務局 〒098-0507 名寄市風連町西町78-49 TEL: 01655-3-4384 携帯: 090-3118-7141 E-mail: mibo5380@sea.plala.or.jp	名寄市風連国民健康保険診療所	平成29年6月24日設立。国保診療所に来られる人がリラックスできる環境づくりを行い、会員同士のつながりを深めること、さらには国保診療所職員と会員(地域住民)のつながりを大切にする活動をめざし設立された。		・講演会及び職員との交流会 ・施設周辺の環境整備 ・院内への写真、生け花の展示		・H29.7 講演会及び診療所職員との感謝の集い ・H29.6~10 花壇整備 ・H29通年 写真展示と生け花展示 ・H30.7 講演会及び診療所職員との感謝の集い ・H30.6~10 花壇整備 ・H30通年 写真展示と生け花展示
17	留萌市	看護学校を創ろう(留萌がんばるかい)	事務局長: 森 義和	〒077-0042 留萌市 開運町3丁目5-1 ニッソー内 事務局長 森 義和 TEL: 090-5983-2612 FAX: 0164-43-8650 E-mail: czf05106@nifty.com	留萌市立病院	留萌市立病院の巨額の赤字が全国的にクローズアップされたことにより、地域住民の勝手運として活動が行われている。 内閣府・農林水産省・トヨタ財団・秋山財団など公的資金を多用して活動。 現在は看護学校(一部事務組合形式による開設運営)を創るPR運動にシフトしている。		・イベントを開催することにより医師・看護師・保健師・薬剤師など多様な人材を確保。 ・看護師確保に関しては桁違いの人数を確保しないと効果がでないため、看護学校の開設を最重要課題としている。		・平成23年から最北のリング園を活用し、リハビリ・リング園を開設運営。 ・留萌市立病院とリハビリリング園の双方を組み合わせた実習プログラムをつくり、全国から医学学生等を呼び、地域に就職させた。 ・「看護学校を創る」というのは道議選での公約となるほど定着している。
18	留萌市	ボランティアスマイル		〒077-8511 留萌市東雲町2丁目16-1 留萌市立病院 ボランティアスマイル事務局 TEL: 0164-49-1011 (内線1910)	留萌市立病院	留萌市立病院の入院及び外来患者をはじめ、その家族も含めた全ての来院者に対し、ゆったりとした優しい環境の提供を目的に活動するため、平成13年に設立。	http://rumoi-hp.jp/public/volunteer.html	・医療スタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報誌の発行		・留萌市立病院内ホールでの案内 ・病棟等で患者が使用する物(病衣、水枕カバー、抑制帯、体幹ベルト他)の作成及び修繕 ・絵本の読み聞かせ ・病院周辺の花壇の整備 ・院内の美化活動 など
19	留萌市	NPO法人るもいコホートピア	理事長: 小海康夫	〒077-0028 留萌市花園町3-1-1 TEL: 0164-43-8121 FAX: 0164-43-8123	留萌二次医療圏の医療機関	社員(設立者)の半分が地域住民、半分が医学博士という設立自体がユニークな団体。 留萌市を中心とする留萌管内の地域住民に対して、学術研究の過程並びに成果によって健康と安心をもたらすこと。また、この果実を大学や企業に活用してもらうことにより留萌で新規産業の創出をはかり、地域の人々が豊かなくらしの実現に寄与することを目的に平成21年設立された。			・医療人材の確保に向けた取り組み	・道、市、市立病院、介護施設、NPO、民間企業、団体等を構成員とする留萌地域をフィールドとした地域医療実習プログラムを検討するグループワーキングの開催 ・留萌地域における地域医療実習プログラムの策定支援、受入体制の構築 ・札幌医科大学の地域医療実習受け入れの支援 ・その他道内医大等の研修生の受け入れ
20	羽幌町	地域医療を守る会「折り鶴」	会長: 出口治康	〒078-4103 苫前郡羽幌町南3条2丁目3 ハートタウンはぼろ3階 羽幌町商工会 事務局長 和田 浩 TEL: 0164-62-2009 FAX: 0164-62-5756 E-mail: h.wada@shokokai.hokkaido.jp	北海道立羽幌病院(北海道立天売診療所、焼尻診療所含む)	平成23年3月設立。 道立羽幌病院において、平日の救急患者の受け入れが困難となったことから、病院の存続に向けて地域商工会が中心となって設立。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報誌の発行 ・講演会の開催		・交流会の開催 ・医師住宅の周辺環境美化、清掃活動、花壇づくり ・機関紙発行(年2回: 町内全戸配布) ・道立羽幌病院ロビーにおいて「折り鶴」文庫本入替え(3ヶ月毎) ・病院体験キッズセミナーの開催 ・町等への要請活動
21	稚内市	地域医療を考える稚内市民会議		〒097-8686 北海道稚内市中央3丁目13番15号 稚内市役所まちづくり政策部地方創生課医療対策グループ 山川・神田 TEL: 0162-23-6287 FAX: 0162-23-3281 E-mail: n-kanda@city.wakkanai.lg.jp		平成27年10月28日設立。開業医の高齢化などによる閉鎖や、市立病院の常勤医の減少、それに伴う診療科の閉鎖や出張医体制の増加など、本市の医療の実情は厳しい状況にある。その様な限られた医療資源を守り支えていくために、地域医療を考える稚内市民会議を設立した。	http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/fukushi/kenkoiryo/shimintudoi.html	・市民向けパンフレットの作成 ・フォーラムの開催 ・出前講座、健康づくり教室の実施 ・開業医誘致に関する取組 ・青少年が医療職への関心を持つ各種取組		・研修医歓迎会 ・小中学校での研修医等の講演会 ・医師・看護師などの病院スタッフに向けた感謝のメッセージを贈る取り組み ・救急受診チャートの全戸配布 ・毎年一回、「稚内の医療を考える市民の集い」の開催 ・年度当初に会議を開催 ・会報誌わっかない〜ね! の発行

No.	市町村名	団体の概要					取組内容		具体的な取組例
		グループ・団体名	代表等	住所	対象医療機関	設立の時期・経緯	備考 (団体のホームページ等)	団体がやっている取組	
22	北見市	北見赤十字病院の明日を考え支援する会	代表: 逢坂 信治	〒090-0022 北見市北2条東2丁目6-1 サンライズ北二条66号 アイティデザイン研究所 TEL: 0157-31-2854 E-mail: shin.ootsuka@nifty.com	北見赤十字病院	平成22年1月29日設立。 北見赤十字病院で医療活動に励んでいる全ての人々に感謝し、日赤の医療活動の現状を理解し、将来に向かって病院を支援する目的で設立した。病院スタッフとの懇談、病院見学などを通して理解と信頼を深め、患者や市民の目線で病院に提言や、病院の運営を知り、市民にそのことをPRする。いわゆる病院の応援団であり、スポークスマンになることを使命にしている。中核医療機関(2次3次医療)の立場を理解し、地域医療について勉強し、かかりつけ医の仕組みを市民に理解して貰う運動を行う。	http://itde.d.dooo.jp/index.html	・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報の発行 ・講演会(フォーラム)の開催 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催	・例会: 毎月第2水曜日。総会・記念講演: 毎年2月。その他: 都度。 ・病院見学会。地域医療の課題を勉強し、その課題を解決するための活動。 ・病院スタッフとの懇談など ・平成30年3月5日 平成30年度総会の際、記念講演会「知っておきたい認知症」開催 ・平成30年3月30日 機関紙「オホーツクの風21号」発行 ・平成30年7月29日 第5回臨床医との交流会「北見での思い出づくりの集い」開催 ・平成30年8月22日 機関紙「オホーツクの風22号」発行 URL: http://itde.d.dooo.jp/0900sien/index.html
23	芽室町	公立芽室病院をみんなで支える会	会長: 鳥本 ヒサ子	082-0031 河西郡芽室町西1条5丁目26-2 村上建設内 事務局長 村上 哲也 TEL&FAX: 0155-62-2516 FAX(単独): 0155-62-1892 E-mail: murakami@murakamikensetsu.co.jp	公立芽室病院	H22.12月頃 公立芽室病院運営委員が中心となり、公立芽室病院支援組織の設立を模索・検討。 H23.1月 設立準備会発足。 H23.4月 設立総会。	公立芽室病院ホームページ内 https://memo.ro.com/support/	・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア ・住民への普及啓発 ・会報の発行 ・講演会(フォーラム)の開催 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催	・平成30年4月 新任医師・職員歓迎会 ・平成30年6月 環境整備ボランティア(花壇整備) ・平成30年10月 「支える会通信」の発行 ・平成30年12月 インフルエンザ予防接種受付簿のボランティア ・平成31年1月 会員と病院職員との合同新年会 ・平成31年3月 地域医療講演会の開催
24	本別町	本別町病院ボランティア運営会議		〒089-3325 中川郡本別町西美里別6-8 本別町国民健康保険病院 事務局 事務次長 松本秀規 TEL: 0156-22-2025 FAX: 0156-22-2752 E-mail: hp.jimt@town.honbetsu.hokkaido.jp		平成14年4月設立。			・病院花壇の整備 ・入院患者のお話相手 ・院内装飾
25	別海町	別海町医療サポート隊「医良同友」	会長: 西原 浩	〒085-0016 釧路市錦町5丁目3番地 三ツ輪ビル5階 北海道中小企業家同友会くしろ支部 事務局 菅 TEL: 0154-31-0923 FAX: 0154-31-0944 E-mail: kushiro@hokkaido.doyu.jp	町立別海病院	平成22年11月29日設立。 町立別海病院で小児科医が不在になるという話しをきっかけに、診療を受ける地域住民が地域医療に関心を持ち、医師の暮らしをサポートするため設立された。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・講演会(フォーラム)の開催 ・会報の発行 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催	・H30.7 活動報告会開催及びスタッフとの懇親会 ・H30.10 医療講演会開催及びスタッフとの懇親会 ・広報紙発行 年2回
26	羅臼町	羅臼の医療を支える会(RISの会)	会長: 望月 武彦 事務局長: 野田 泰寿 事務局次長: 熊耳 雅美	羅臼アポロ石油 〒086-1832 目梨羅臼町船見町45番地 TEL: 0153-87-2203(望月) FAX: 0153-87-2199 町民体育館内 0153-87-2408(熊耳) FAX: 0153-87-2199 E-mail: moti.t@docomo.ne.jp	知床らうす国民健康保険診療所	町民の立場で診療を支える活動をしようと、飲食店経営者や漁業者らで、平成26年4月に結成。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・対象医療機関でのボランティア	診療所スタッフ向けの町内での割引、特典を受けられる会員証の発行 ・平成26年7月12日 診療所スタッフとの交流を目的とした、ホエールウォッチング ・RISの会の協賛店・協賛企業で会員証を提示することにより、観光船の乗船料や温泉入浴料、ダイビング資格取得費用の割引、飲食店でのドリンクサービスなどの特典が受けられる会員証の発行を行っている。
27	根室市	ねむろ医心伝信ネットワーク会議		087-0016 根室市松ヶ枝町2丁目7 根室商工会議所内 総務課 「ねむろ医心伝信ネットワーク会議」 佐藤、谷田貝(メイン担当) TEL: 0153-24-2062 FAX: 0153-24-2090	市内医療機関	平成19年10月設立。 地域医療を守るため市民と医師のコミュニケーションを図り、相互の親睦と交流することを目的とする。		・医師・看護師などのスタッフとの交流 ・住民への普及啓発 ・講演会(フォーラム)の開催 ・「地域医療を考える会、守る会」等の会議の開催	・市立根室病院新入職医師との交流会 ・対象医療機関でのボランティア ・地域医療懇談会の開催 ・市民医療講演会の開催 ・根室糖尿病デー「市民公開講座」の開催 ・コンビニ受診に関する広報活動等
28	根室市	根室の地域医療を守る連絡会	代表世話人: 山口 庄一郎	〒087-8711 根室市常盤町2丁目27番地 根室市労連気 付 根室地区労働組合総連合内 事務局次長 坂本勇治 TEL: 0153-23-3892 FAX: 0153-23-4197					・「市立根室病院の現状を考える市民シンポジウム」開催 ・国会議員および総務省・内閣府を回り要請 ・記者会見の開催